

能登教務所通信

1月

2026年を迎えて…教務所長挨拶

能登教務所長 竹原了珠

皆様方におかれましては、平素から教区諸事業並びに被災地支援について、ご理解とご協力をいただいておりますこと、御礼申し上げます。

昨年6月21日に執行しました「第53回能登教区同朋大会 令和六年能登半島地震・奥能登豪雨物故者追弔法会」では満堂となる350名の参詣者による正信偈の同朋唱和、そして恩徳讃の大音声を通して如来のはたらきを多くの方々が実感されたことと思います。教区追弔法会が、各地での追弔法要の勤修を今後さらに広く推進いただく大切な機会であったと受け止めています。また、各地での追弔法要への支援策として、助成制度を設けました。

更に、昨年の「教区同朋会議」によって共有された課題、すなわち寺院と地域とのつながりの構築に資する活動に対し「組活性化事業助成」を設け、必要に応じて宗派ボランティア支援センターが実施組に協力する体制を講じています。是非ともご門徒のみならず地域の皆様との関係を深めていただきたく存じます。

被災以前から、能登教区では少子高齢化ならびに人口流出による過疎化が急速に進むことの危機感が共有されてきました。度重なる災害は人口減少を加速させ、2025年11月1日現在の七尾市以北の6市町(珠洲市・輪島市・能登町・穴水町・七尾市・志賀町)の人口は2024年1月1日から11,132人(9.3%)減少しました(2025年12月1日石川県発表)。過疎問題と災害が教区に及ぼす影響を調査するため、「第2回 過疎問題に関する全寺院アンケート調査」及び「被災以降の環境変化に関する実態調査」を実施し、教区全体の7割近い寺院から回答が得られました。現在、アンケートの集計と報告書作成に向けた作業部会を開催しており、今後の教区運営と災害支援に活用すべく協議を行ってまいります。また、教区内の皆さまへ報告する機会を予定しております。

昨年11月の御正忌報恩講では、「能登半島地震復興支援事業～東本願寺で能登を想ふ」が開催されました。能登震災ブースでは本山や教務所の職員はもとより、能登教区ボランティア委員会や大谷大学及び龍谷大学の学生にも協力いただき、能登の現状や被災時の備えについての展示を行いました。復興応援広場や映画・シンポジウムにもたくさんの方が来場され、能登への支援を示してくださいました。

様々な事業・取り組みをとおして、寺院と門徒及び地域との関係性が極めて重要であることが明らかとなりました。本年も、能登教区が課題としている「つながりの再生」に向けて、鋭意、取り組んでまいります。何とぞ、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆秋安居◆…研修部門（別紙案内同封）

- 1 日 時 2026年3月2日(月)13時30分から18時まで
3日(火)13時30分から17時まで
- 2 会 場 能登教務所 研修室
- 3 講 師 鶴見 晃 氏(同朋大学教授)
- 4 講 題 『観無量寿経』序分聞記【2025年安居次講—『観無量寿経』序分—】
- 5 参加費 500円

※教師陞補認定対象研修会(第2種)です。受講認定を求める方は2日間出席(攻究を含め全日程参加)が必要です。

※金沢教務所で行われる「秋安居」を、能登教務所でライブ配信し聴講いただきます。個別での配信は行いませんので、ご承知おきください。詳細は別紙案内をご確認ください。

◆得度事前研修会◆…研修部門（別紙案内同封）

- 1 日 時 2026年3月29日(日)～30日(月) 各日9時から17時まで
- 2 対 象 得度希望者
- 3 参加費 3,000円

※研修会に先だち、オリエンテーションを3月7日(土)午後1時30分から行いますので、必ずご参加ください。詳細は別紙案内をご確認ください。

復興支援について

◇ボランティア支援センターからのお知らせ◇

宗派ボランティア支援センターでは、教区ボランティア委員会、また教区外からのボランティアと連携し、救援物資のお届けや本堂・庫裡、ご門徒宅の片付け、御本尊並びに法宝物、ご門徒宅のお内仏の運び出しなどをお手伝いさせていただいております。

ご要望の内容や建物の状況、希望日時を事前にお聞きし調整した上で伺いますので、まずは下記までご連絡ください。

真宗大谷派ボランティア支援センター 070-1860-6010

※受付時間：9時30分～16時（教務所事務休止を除く）

<https://sites.google.com/view/nvsc-otaniha/>



◇追弔法要執行に係る助成金制度について◇…申請期限3月31日まで

追弔法要執行に係る助成金の申請期限を2026年3月31日(火)まで延長することとなりました。助成金の申請を希望の場合、「追弔法要助成金交付申請書」を教務所まで提出ください。

※申請書が必要な場合は教務所までご連絡ください。

2026年3月31日以降の取り扱いについては、今後災害救援本部において協議いたします。

教化事業・その他行事のご報告

◇能登教区報恩講◇…総合教化本部

11月12日・13日で教区報恩講が開催されました。ここ数年、コロナ感染症や震災の影響により日程を短縮していましたが、今年は御伝鈔の拝読を上下巻行ったり、13日の晨朝を内勤めではなく

内陣出仕者有りで行ったりと、従来の日程に戻しつつ執行されました。また、教区坊守会によるお齋も夕食と朝食が用意されました。精進という制約の中でも、工夫を凝らした献立であり、たいへん美味しくいただきました。今年は約 140 名が参詣されたとのことであり、昨年より多くの方がお参りに来られたことが、ありがたく感じられました。

実行委員会として関わらせていただき、参詣法中とご門徒の念仏の聲が響き渡る中で大切な儀式の全日程にふれることができ、貴重な経験となりました。 慈耆 一生（報恩講実行委員）

◇第 1 回カルト問題研修会◇…時代社会部門

去る、10 月 8 日に能登教務所において標記研修会が行われ、講師に平野喜之氏（金沢教区第 11 組浄専寺住職・日本脱カルト協会理事）をお迎えし、15 名が参加されました。

「カルト宗教の二世問題」について、カルト二世の方との対談の聞き取りを交えてお話されました。カルトへの入信を自らの意思で決める一世には「選ぶ権利」があるが、自分の意思にかかわらず生まれた時から信者となっている二世は「自由な人生を選べない」という重い苦しみを抱えていることを学びました。

講義のあと、班に分かれて座談会を行いました。意見交換の中でカルト集団の現状や、特に震災から人の不安につけこんでいく勧誘が増えている事など、身近なところに存在することを知りました。

最後に先生から『信教の自由』は認められているのに、『信仰を選び捨てる権利』はありますか？と、二世問題の訴えを問いかけられました。

カルト宗教集団は私たちの身近で活動しています。巻き込まれない為にも少しでも多くの方に知ってもらいたいと思います。 越岡 美佐緒（時代社会部門）



※3 月 6 日に第 2 回カルト問題研修会を開催予定です。詳細は追ってご案内いたします。

◇靖国問題研修会◇…時代社会部門

去る 12 月 5 日に能登教務所において標記研修会が行われ、講師に藤共生氏（福井教区第 6 組福円寺衆徒・日刊県民福井記者）をお迎えし、14 名が参加されました。

まずは、靖国神社に父親が英霊として合祀されている、西山誠一さん（小松・大聖寺教区）のお話を聞き取りした時の映像を見ました。そこには、和田稠先生を通して真宗の教えに触れ、靖国神社について、そして「内なる靖国」について学び、更に和田先生から「この問題は僕の問題でもあり、君の問題でも



ありますよ。」と言われたと語る西山さんの姿がありました。また、靖国問題を憲法第 9 条に関わる問題と捉えてきたが、憲法第 20 条に関わる問題だと思われていました。そして『つなぐ戦後 78 年』の新聞記事が紹介され、そこには、「戦争は人を殺し、人に殺される場所。聖戦の名において人殺しをさせられた父を解放してあげたい。」という西山さんの思いが書かれていました。

その後、西山誠一さんを始め多くの戦争体験者と出会いそれを記録してきた藤共生さんからの講話となりました。幾人か

の戦争体験者の映像・画像と言葉が紹介されました。9歳の時に父親と沢山の村人が日本兵に殺される体験をした中国人の金茂芝さんと出会い、彼から「この事を広め伝えてほしい。」と言われ、藤さんは自分がやった事ではないと言って知らん顔はできないと思ったと語られました。

参加者感想・意見には、「戦争は人殺しだという意識を持つべきだ。」や「人はなぜ戦争をするのかを小学校から考えるべきだ。」などがありました。 松下 春樹（時代社会部門）

◇お寺を元気にしよう会（第12組傳流寺/10月18日開催）◇…青少幼年部門

今年も無事、自坊の報恩講を勤めることができました。近年は随分簡素化し、日数を減らし、お齋はなし。組内のお参り合いもなく自坊のみで勤めております。

しかし、今年は違いました。青少幼年部門の方々にボランティアに来ていただきました。勤行では少し緊張した面持ちだった子ども達も、ボランティアによるお念珠づくりでは親子で楽しそうに。また、お天気に恵まれた外ではスーパーボールすくいに声を上げて。平生見られない報恩講の光景に嬉しさがこみ上げてきました。おかげさまでボランティアの方々に感謝です。お忙しい中ありがとうございました。



幼い手を合わせ本堂に向かい合掌して帰る姿に胸がジーンとききました。

今後の寺に在り方に頭を巡らせた瞬間でした。

高津 貴子（第12組傳流寺前坊守）



本山・教区事務についてのご連絡

◇教務所事務休止のお知らせ◇

次のとおり事務休止とさせていただきます。なお、ボランティア支援センターも閉所します。

12月27日（土）から2026年1月6日（火）まで 年末年始事務休暇のため

※寺族・総代用の弔詞・御香は組長寺院に仮渡しております。

住職(前)、坊守(前)様のご逝去された際は、葬儀日程等の詳細が決定された後に、教務所までご連絡ください。生前論功は休暇明けに伝達させていただきます。何卒ご容赦ください。

※緊急の際には下記教務所携帯電話までご連絡ください。

緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611

◇本山経常費年未完納について◇

今年度の年未完納扱いは2026年1月20日(火)までとなっておりますので、何とぞよろしくお申し上げます。ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までお申し付けください。(年未完納での申請の際は、内規額を10分の8に減額することができます。)

◇「能登教区坊守会だより」第41号の発行について◇…別紙同封

このたび、「能登教区坊守会だより」第41号を発行しましたので、ご一読くださいますようお願いいたします。

◇「2026年能登教区の集い」開催のご案内◇…別紙案内同封

このたび、教区の皆様の親睦の場として「2026年能登教区の集い」を計画しました。寺族はもとより、ご門徒をはじめ有縁の方をお誘いあわせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1 日時 2026年2月18日(水) 18時開演
- 2 会場 和倉温泉「のと楽」
- 3 会費 宿泊有 15,000円(1泊朝食付)
宿泊無 10,000円

※別紙のご案内を参照の上、参加希望の方は申し込みハガキにてお知らせください。

◇第二種共済の任意加入をされているご寺院へ◇…継続時には保障内容の点検を！

任意加入の継続加入については、満了日の1ヶ月前までに本山から通知と振込用紙が送付されます。なお、継続加入にあたり、内容に変更がある場合、教務所での手続きが必要です。

【例】

- ☆災害により本堂・庫裡の解体を行った。または、本堂を解体し、礼拝施設としての機能を庫裡に集約した(庫裡御堂)。
→解体した建物は加入する必要がありません。また、「庫裡御堂」は本堂として加入する必要があります。
- ☆修復が完了していない。
→原状復帰が完了していない場合、保障の対象外となる場合があります。
- ☆修繕したことにより建物の面積が変わった。
→面積変更届が必要です。
- ☆新たに鐘楼に加入したい。
→事前に宗務総長の承認が必要です。承認には1ヶ月程度要します。
加入期間中の変更や拠出金の返金はできません。継続時は保障内容をいま一度ご確認ください。
ご不明な点がありましたら、能登教務所までお問い合わせください。

◇本山経常費完納寺院◇ (2025.11.1~2025.11.30迄)

2025年度本山経常費をご完納いただき、ありがとうございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	圓通寺	浄願寺	願生寺	第11組	蓮聖寺
第2組	榮通寺			第12組	法泉寺 明傳寺
				第13組	正福寺

◇代務者就任◇ 先月号掲載以降 敬称略 ()内は所属寺院

第13組 大泉寺 長谷部 隆男 (東京教区重蓮寺) 2025年12月13日

◇敬弔◇ 先月号掲載以降 敬称略

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

鶯川組	一念寺	住職	藤谷 勉	2025年12月6日寂
第13組	長順寺	住職	貫 正臣	2025年12月12日寂

◇諸届の提出について◇…12月末が会計年度末の寺院・教会の皆さまへ

責任役員・総代の選定は、法人運営に必要不可欠なものであり、宗教法人法や宗門法規において定められています。任期終了間近の御寺院につきましては、届出用紙を同封しましたので、記入・押印いただき、教務所まで届け出ください。提出に際し、ご質問等ございましたら教務所までご連絡ください。

- ※届出用紙は、宗派公式ホームページ（「東本願寺 寺院運営のお役立ち情報」で検索）からダウンロードの上、A3サイズでプリントいただくか、教務所までご連絡いただきましたらお送りいたします。
- ※「事務所備付書類写し」は、毎会計年度終了後 3 か月以内に作成し、4 か月以内に県庁へ提出する必要があります。提出先は〒920-8580 金沢市鞍月 1 丁目 1 番地 総務部総務課法規グループ
- ※「事務所備付書類写し」はオンラインでの提出も可能です。詳しくは、「石川県電子申請システム」のホームページから、「宗教法人事務所備付け書類」を選択してください。
 - 「石川県電子申請システム」HP で検索キーワードを「宗教法人」と入力ください。

◇東本願寺出版のお知らせ◇…ご注文は東本願寺出版、もしくは能登教務所まで！

私はどこへ行き生まれるのか—往生浄土の仏道—(伝道ブックス94)



亀谷 亨・著

新書判 80 頁／330 円(税込)

浄土とは何なのか？ 私がそこへ行き、生まれるとは一体どういうことなのか？
浄土真宗の根幹たる教えに問いを持ち続けてきた著者があらためて尋ねる一冊。

■「東本願寺出版ホームページ」からのご注文なら
クレジット決済をご利用いただけます！

東本願寺出版

検索



東本願寺出版

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る

TEL:075-371-9189 / FAX:075-371-9211

※平日9時～17時(土日祝を除く)

Mail: books@higashihonganji.or.jp

※この教区通信は能登教区ホームページより PDF ファイルでダウンロードすることができます

発行責任者 能登教務所長 竹原 了珠

発行日 2026年1月1日

能登教区教化テーマ 人と生まれて 能登の大地に親鸞と生きん

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>

